

# OTTOBIT

## 오토비트



### MANUAL v.3

MORE THAN LOGIC. UNITING ART + ENGINEERING.

#### 日本語版マニュアル

##### 目次

第1章	OTTOBIT JR. 各機能解説	2
第2章	グローバルセッティング	3
第3章	STUTTER	4
第4章	STUTTER ホールド概説	4
第5章	シーケンサー詳説	4
第6章	エクスペッション端子モード詳説	5
第6a節	Expression Pedal	5
第6b節	Tap Switch	6
第6c節	4 Button Preset Switch	6
第6d節	MIDI	6
第7章	ノブ動作詳説	6
第8章	プリセット詳説	6
第9章	テンポ詳説	7
第10章	MIDI CC 一覧表	7
第11章	OTTOBIT JR. プリセット 1 工場設定	8
第12章	技術仕様	8

# 第1章 OTTOBIT JR. 各機能解説

**SAMPLE RATE :** サンプルレートを 48 Hz から 48 kHz まで変化させ、デジタルオーディオの周波数レンジの劣化を再現します。  
**Alt モード :** STEP 1. シーケンサーステップ 1 の設定です。

**STUTTER :** Stutter の長さとしーケンス再生スピードを変更します。  
**Alt モード :** STEP 4. シーケンサーステップ 4 の設定です。

**TAP LED / ALT FUNCTION :** タップすることによりテンポを設定します。  
LED は 4 分音符の間隔で点滅します。  
またこのボタンを押し続けている間、Alt モードが有効となります。

**TAP :** タップされたテンポでテンポとしーケンススピードを設定します。  
ホールドすることで、Stutter 機能にバッファされた信号データをフリーズします。

**FILTER :** フィルターのカットオフ周波数の設定です。  
**Alt モード :** STEP 2. シーケンサーステップ 2 の設定です。

**SEQUENCER PLAY MODE :** シーケンサーのリピート回数を設定します。1, 2, 4, 8 回リピートと連続再生が設定可能です。  
**Alt モード :** STEP 5. シーケンサーステップ 5 の設定です。

**SEQUENCER MULTIPLY :** タップテンポ等で設定されたテンポに対してシーケンサーの再生スピードを倍率でコントロールします。  
**Alt モード :** STEP 6. シーケンサーステップ 6 の設定です。

**SEQUENCER :** フィルターの設定です。  
**Alt モード :** STEP 3. シーケンサーステップ 3 の設定です。

**SEQUENCER MULT :** タップテンポ等で設定されたテンポに対してシーケンサーの再生スピードを倍率でコントロールします。  
**Alt モード :** STEP 6. シーケンサーステップ 6 の設定です。

**BYPASS LED / SELECT SEQUENCER TYPE :** LED がバイパスのステータスを表示します。  
小さい LED はシーケンサーの設定を表示します。  
小さい LED が両方も消灯している場合は、サンプルレートシーケンサーがアクティブです。

**BYPASS :** バイパス。

## ファクトリーリセット

電源投入時にMODE ボタンを押し続けていることで全プリセットならびに全グローバル設定をそれぞれの工場出荷時の状態にリセットできます。  
リセットが完了したら本機の電源を入れ直してください。

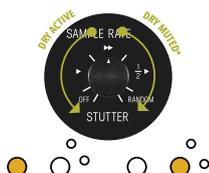
## 第2章 グローバルセッティング

グローバルセッティングへのアクセス方法：



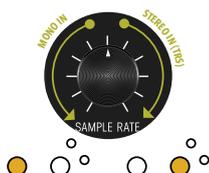
左側の **TAP** フットスイッチの上にある LED ボタンを押しながら電源を投入します（起動には3秒を要します）。フロントパネルの全 LED が3回点滅します。

**KILL DRY** : \*DRY MUTED 時, Wet モードのみがアクティブになります。バイパス時は本機全体がミュートされます。



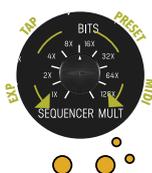
左側 LED は DRY ACTIVE 表示 右側 LED は DRY MUTED 表示

**INPUT MODE** :



左側 LED は MONO 表示 右側 LED は TRS 表示

**EXPRESSION MODE** :



フロントパネルの LED が点滅して EXP, TAP, PRESET, MIDI を示します。

**LINE/SYNTH LEVEL** :



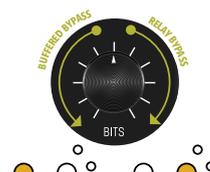
左側 LED は INSTRUMENT LEVEL 表示 右側 LED は LINE LEVEL 表示

**MIDI THRU ON** : 右側フットスイッチでトグル動作



左側 LED は MIDI OUT 表示 右側 LED は MIDI THRU 表示

**BYPASS MODE** :



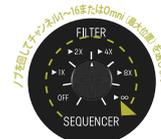
左側 LED は BUFFERED BYPASS 表示 右側 LED は RELAY BYPASS 表示

**GLOBAL TEMPO** : 左側フットスイッチでトグル動作



左側 LED は GLOBAL TEMPO 表示 右側 LED は PRESET TEMPO ごとの表示

**MIDI CHANNEL** :



フロントパネルの LED が点滅して二進数を示します。

MIDI チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○

## 第3章 STUTTER 詳説

Ottobit Jr. の STUTTER エフェクトは音を録音・再生して、1980 年代のキャラクター《Max Headroom》によって普及したスタックバッファースOUNDを作り出します。

STUTTER ノブは STUTTER の長さで STUTTER が何回リピートするかを設定します。このノブは全速 (▶)、倍速 (▶▶)、半速 (½▶) の3つのスピード範囲に分かれており、それぞれの範囲には7つの異なる選択肢があります。さらに、STUTTER ノブの最小位置では STUTTER はオフになり、ノブを最大位置に合わせると STUTTER はランダムに設定されますので、右のように全部で23のポジションがあることとなります：

### STUTTER ノブ位置の区分：

- |                     |                                   |
|---------------------|-----------------------------------|
| 1. STUTTER はオフ      | 13. 倍速, STUTTER 6 回               |
| 2. 全速, STUTTER 1 回  | 14. 倍速, STUTTER 8 回               |
| 3. 全速, STUTTER 2 回  | 15. 倍速, STUTTER 16 回              |
| 4. 全速, STUTTER 3 回  | 16. 半速, STUTTER 1 回               |
| 5. 全速, STUTTER 4 回  | 17. 半速, STUTTER 2 回               |
| 6. 全速, STUTTER 6 回  | 18. 半速, STUTTER 3 回               |
| 7. 全速, STUTTER 8 回  | 19. 半速, STUTTER 4 回               |
| 8. 全速, STUTTER 16 回 | 20. 半速, STUTTER 6 回               |
| 9. 倍速, STUTTER 1 回  | 21. 半速, STUTTER 8 回               |
| 10. 倍速, STUTTER 2 回 | 22. 半速, STUTTER 16 回              |
| 11. 倍速, STUTTER 3 回 | 23. ランダム (上記すべてならびに上記すべての逆の組み合わせ) |
| 12. 倍速, STUTTER 4 回 |                                   |

## 第4章 STUTTER ホールド詳細

STUTTER がかかっている音声をフリーズさせるには、TAP フットスイッチを押し下げ続けるか、外部タップスイッチを押し下げ続けるか、あるいは STUTTER ホールド MIDI CC を送信します。STUTTER ホールドは STUTTER が再生しているものをフリーズさせることで動作します。STUTTER が音声の何らかの断片を再生している場合、TAP を押し下げると即座にその断片を、ユーザーが TAP を放すまで無限に保持することになります。STUTTER が音声を捉える前に STUTTER ホールドに入れることもできます。何も弾かずに TAP を押し続けたままにして Ottobit Jr. に STUTTER をホールドしたいことを伝え、その後何かを弾くと、Ottobit Jr. はユーザーが TAP を放すまでその音や和音を STUTTER します。どちらの方法も使

えて、反応時間は瞬間のように感じる筈です。

STUTTER をトリガーさせるのに問題がある場合、ドライなギターを Ottobit Jr. に入れてみてください。そして求めていた結果が得られたら外部エフェクターを元のように戻してみます。ピックのアタック検出は大抵の信号で機能できるはずですが、演奏した信号が極めてノイジーな場合はピックのアタックをノイズから識別するのが難しいことがあるかも知れません (極端に熱狂的なファズペダルを入れた場合のように)。

## 第5章 シーケンサー詳説

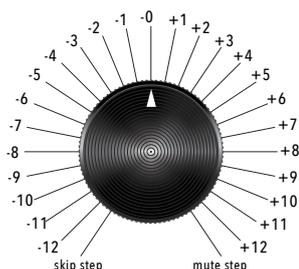
Ottobit Jr は Pitch Sequence, Filter Sequence, Sample Rate Sequence という3つの異なる制御タイプを備えた6ステップのシーケンサーを特徴とします。6つのステップのそれぞれの値を設定するには、ALT ボタンを押し下げながら、編集したいステップに対応するノブを回すだけです。すべてのシーケンサータイプについて、ステップを編集するために ALT ボタンを押し下げている間、ノブが最小位置にあるとそのステップはスキップされ、ノブが最大位置にあるとそのステップはミュートされます。

1つのステップだけを調節するには、ALT ボタンを押しながら5つのノブを最小位置に設定し、次いでノブの1つだけを使って1つのステップを調節します。これは少し迷ったときに取るべき良い方法であり、通常はこれがシーケンスの調節を始める方法でもあります。すべてのノブをスキップに設定し、その後、ステップを1つずつシーケンスに追加することから始めてください。

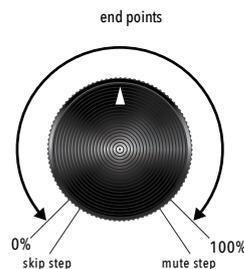
### ピッチシーケンス

ピッチをシーケンスするように設定された場合、各ステップでは各半音とギターのピッチの1オクターブ下と上の選択が行え、ノブの中心はシフティングなしとなります (ドライなギターだけ)。どのモードにも当てはまりますが、ノブが最小位置にあるときはそのステップはスキップするように設定され、ノブが最大位置に

あるときはそのステップはミュートに設定されます。まとめると、各ステップではピッチシーケンスについて、Dry, Skip, Mute, そして24個の半音という27個の異なる選択を行えるということです。



ピッチシーケンスモードでのステップのためのノブ区分



フィルターシーケンスモードとサンプルレートシーケンスモードでのステップのためのノブ区分

0 ~ 100% の連続範囲があり、両端の位置はそれぞれスキップとミュートとなります

## フィルターシーケンス

シーケンサーはモディファイアとしてフィルターを制御します。つまり、シーケンサーの個々の各ステップはフロントパネルのメインの FILTER ノブが設定されているものを変更します。このようにして、シーケンスはフロントパネルの FILTER ノブが行っていることをつねにトラッキングしており、FILTER ノブは必ず全体的な最大カットオフ周波数を設定します。

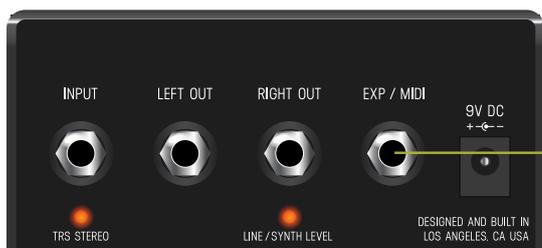
これをパーセントとして考えるのが一番分かり易いでしょう。各ステップを調節する際、第2レイヤーのノブを12時の位置まで回すと、そのステップはフロントパネル上で設定してあるものの50%までフィルター周波数を変化させることとなります。つまりメインの FILTER ノブを1,000 Hzのカットオフに設定したとして、シーケンスのそのステップに至ると、500 Hzのフィルターカットオフを聴くこととなります。

## サンプルレートシーケンス

シーケンサーはサンプルレートを制御する際は「モディファイア」または「第2ソース」としても機能します。シーケンサーが Sample Rate に設定されると、それはフロントパネルの SAMPLE RATE ノブが設定されているものを、フィルター

のカットオフを制御するように設定されているときと同様に変更します。そしてどのモードにも当てはまりますが、ノブの最小位置ではそのステップはスキップされ、最大位置ではそのステップはミュートされます。

# 第6章 エクスプレッション端子モード詳説



エクスプレッションペダル用の端子はグローバルセッティングにて選択可能な4つの異なる操作モード—— Expression Pedal, Tap Switch, 4 Button Preset Switch, MIDI ——を提供する多機能ジャックです。

## 第6a節 Expression Pedal

エクスプレッションペダルはすべてのノブの値（第2レイヤーのノブの値も）の設定をその2セット間で変化させます。つまり、完成した性質の異なるプリセット2個の間を、エクスプレッションペダルを使って変化させることができます。まず、エクスプレッションペダルを「トゥアップ（つま先の上がった）位置」にして、各ノブを希望するように設定します（第2レイヤーのノブも含めて）。次にエクスプレッ

ションペダルを「トゥダウン（つま先の下がった）位置」にして、各ノブを第2のサウンドを作るように設定します。これでエクスプレッションペダルをヒールからトゥまでスワイプすれば、この2セットの設定間を滑らかに変化できるようになります。MIDI CC #04 を用いてエクスプレッションペダルを操作することも可能です。



エクスプレッションペダルを使用している場合でエクスプレッションペダルの「トゥアップ」設定を「トゥダウン」設定に素早くコピーしたいときは、ケーブルを Ottobit Jr. の EXP ジャックから抜いてから差し込み直すだけです。これは実に便利なショートカットで、エクスプレッションペダルで変更したいのはただ1つのパラメーターである場合は手でサウンドを作り直す必要はありません。

## 第 6b 節 Tap Switch

Ottobit Jr. では、外部スイッチはタップテンポを制御し、本体の TAP フットスイッチと同じ機能を持ちます（これは STUTTER ホールドを含みます）。本体の TAP フットスイッチの場合と同様に、外部接続した TAP スイッチを押し下げると、それは STUTTER に現在または次の有効な STUTTER バッファーをホールドさせます。

## 第 6d 節 MIDI

Ottobit Jr. は EXP ジャックを介した MIDI 入出力を備えており、豊かで深い MIDI 実装を行ってあります。すべてのノブや別機能、エクスプレッションペダル、そしてスイッチは MIDI CC を介して利用できます。プログラムチェンジメッセージを受信することができ（MIDI PC）、MIDI ビートクロックに同期することができ（Ottobit Jr.）、またプリセットを送受信することも可能です。必ずグローバルセッティングで希望する MIDI チャンネルを設定してください。複数の機材を MIDI に連続してつないである場合、ユーザーは各機材をそれぞれ自身のチャンネル上でモニターしたり送信するように設定したいはずで

## 第 6c 節 4 Button Preset Switch

Meris 社製の 4 ボタンスイッチを接続してある場合、このモードはプリセット 1 ~ 4 へのアクセスと即座の稼働を提供します。



## 第 7 章 ノブ動作詳細

選択されている EXP ジャックのモードに応じて、Ottobit Jr. は電源投入時にトッププレイヤーのノブをスキャンしてノブを更新します。Ottobit Jr. はその EXP ジャックのモードが Expression Pedal または External Switch のいずれかに設定された場合、起動時にノブをスキャンします。つまり、本機がオフのときであってもユーザーがノブ設定を変えた場合、次回本機の電源を入れたときに本機がどのような音になるかはそれらのノブの値で決まるということです。また、テンポならびにシーケンサーのタイプは自動的に保存され、最後に本機が通電されていたときの

設定に戻ります。これら 2 つの EXP ジャックのモードでは Ottobit Jr. は従来のギターペダルとまったく同じように動作し（WYSIWYG）、EXP ジャックのモードが 4 Button Preset Switch または MIDI のいずれかに設定された場合は、本機はシンプルに現在のメモリー位置内に保存されているプリセットを呼び出します。この設定によって、演奏のために正確なサウンドを呼び出すことに確信を持ちたいユーザーのために、Ottobit Jr. は確実に標準的なマルチプリセットの機材のように動作するようになります。

## 第 8 章 プリセット詳説

Ottobit Jr. には 16 個の内部プリセット位置があります。最初の 4 つのプリセットには互換性のある 4 ボタンのフットスイッチでアクセスでき、全 16 個のプリセットには MIDI のプログラムチェンジメッセージでアクセスできます。

プリセットを保存するには単純に ALT ボタンを長押しします。プリセットはユーザーが ALT+（第 2 レイヤー）ノブを編集するたびに保存されます。このようにして電源が切られたあとに、Ottobit Jr. はユーザーの第 2 レイヤーノブの設定をそのメモリー内に保つことができようになっています。

プリセットを現在の位置とは別の位置に保存するには、互換性のある 4 ボタンフットスイッチ上の希望するプリセットボタンを押すか、プログラムチェンジ

メッセージを MIDI 経由で編集したいプリセットに送信します。変更を行ったあとには ALT ボタンを長押しして保存してください。

Ottobit Jr. は MIDI システムエクスクルーシブデータを介してプリセットを送受信できます。プリセットを Ottobit Jr. からコンピューターに送信するには ALT ボタンを押しながら BYPASS フットスイッチの上にある LED ボタン（シーケンサータイプ選択）を押します。Ottobit Jr. はプリセットデータをつねにモニターしていますので、コンピューターにバックアップしてあったプリセットを Ottobit Jr. に単純に送り返せば、その送ったデータでプリセットを上書きします。新たに受信したプリセットに満足できたら ALT ボタンを押すだけです。Ottobit Jr. はそのデータを現在のプリセット位置に保存します。

## 1. Meris社プリセットスイッチを使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEを4 Button Switchに設定します。(各ペダルのマニュアル参照)
- プリセットスイッチとMerisペダルをTRSケーブルを使用し、接続します。
- 保存したいスイッチを押し、保存したいサウンドを作ります。
- 完成しましたらALT (HOLD)スイッチを長押しします。
- これでプリセットスイッチの該当の番号にプリセットが保存されます。

## 2. MIDI装置を使用する場合

- Merisペダル本体のグローバルセッティングにおいて、EXPRESSION MODEをMIDIに設定します。(各ペダルのマニュアルを御覧ください)
- Meris社のMIDI I/Oを介してMIDI装置とMerisペダルを接続します。
- 保存したい番号のプログラムチェンジメッセージをMerisペダルに送信します。
- 保存したいサウンドになるようにMerisペダル本体の設定を変更します。
- 完成しましたら ALT (HOLD) スwitchを長押しします。
- 該当のプログラムチェンジ番号にプリセットが保存され、プログラムチェンジメッセージを送信することでプリセットが呼び出されます。

## 第9章 テンポ詳説

Ottobit Jr. では、本体の TAP フットスイッチや外付けの TAP スwitch、MIDI ピートクロック、テンポ MIDI CC、タップスイッチ MIDI CC を用いた四分音符でのタッピングでテンポを設定することができます。

Ottobit Jr. は 23.4 BPM から 6000 BPM に及ぶ極めて広いテンポレンジを持っています。これによってユーザーはリングモジュレーションのエフェクトが得られるようにシーケンサーを音声帯域内に入れることができます。SEQUENCER MULT ノブを使えば 768,000 BPM までのスピードで動作するシーケンサーを実現することもできます。

Ottobit Jr. では STUTTER とシーケンサーの両方ともタップテンポをモニターしています。ここも SEQUENCER MULT ノブが役立つところです。これは音符分割制御が機能する方法で作用し、ユーザーにはシーケンサーを STUTTER よりも速いレートで (ただしなおもテンポにリンクしています) 動作させる多数の選択肢があります。奇数拍子の場合はステップの値のいくつかをスキップに設定することでシーケンサーを奇数ステップに制限してみてください。

## 第10章 MIDI CC 一覧表

CONTROL CHANGE	OTTOBIT JR. CONTROL	RECEIVE VALUE RANGE	TRANSMIT VALUE RANGE
CC# 04	EXPRESSION PEDAL	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 14	BYPASS	0 ~ 63 = FX BYPASS 64 ~ 127 = FX ENABLE	0 = FX BYPASS 127 = FX ENABLE
CC# 15	TEMPO	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 16	SAMPLE RATE	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 17	FILTER	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 18	BITS	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 19	STUTTER	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 20	SEQUENCER	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 21	SEQUENCER MULT	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 22	STEP 1	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 23	STEP 2	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 24	STEP 3	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 25	STEP 4	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 26	STEP 5	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 27	STEP 6	0 ~ 127	0 ~ 127
CC# 28	TAP	127 = TAP PRESS	127 = TAP PRESS
CC# 29	SEQUENCER TYPE	0 ~ 62 = PITCH 63 = SAMPLE RATE 64 ~ 127 = FILTER	0 = PITCH 63 = SAMPLE RATE 127 = FILTER
CC# 31	STUTTER HOLD	0 ~ 63 = HOLD OFF 64 ~ 127 = HOLD ON	0 = HOLD OFF 127 = HOLD ON

## 第 11 章 OTTOBIT JR. プリセット 1 工場設定

EXPRESSION	PARAMETER	KNOB POSITION	REAL WORLD VALUE	MIDI DECIMAL	MIDI HEX
TOE UP	SAMPLE RATE	MAX	48 kHz	127	7F
TOE UP	FILTER	MAX	フィルターはバイパスされる	127	7F
TOE UP	BITS	MAX	32 ビット	127	7F
TOE UP	STUTTER	MIN	STUTTER はオフ	0	0
TOE UP	SEQUENCER	MAX	連続シーケンス	127	7F
TOE UP	SEQUENCER MULT	MIN	MULT × 1	0	0
TOE UP	STEP 1	11 時の位置	完全 4 度下	38	26
TOE UP	STEP 2	10 時の位置	短 6 度下	26	1A
TOE UP	STEP 3	8 時の位置	1 オクターブ下	3	3
TOE UP	STEP 4	2 時の位置	完全 5 度上	102	66
TOE UP	STEP 5	1 時の位置	長 3 度上	87	57
TOE UP	STEP 6	12 時の位置	ピッチシフトなし	63	3F
	SEQUENCER TYPE	N/A	ピッチシーケンサー	0	0
	TEMPO	N/A	143 bpm	42	2A
TOE DOWN	SAMPLE RATE	12 時の位置	11930 Hz	63	3F
TOE DOWN	FILTER	12 時の位置	1926.2 Hz	63	3F
TOE DOWN	BITS	11 時の位置	8 ビット	58	3A
TOE DOWN	STUTTER	MIN	STUTTER はオフ	0	0
TOE DOWN	SEQUENCER	MAX	連続シーケンス	127	7F
TOE DOWN	SEQUENCER MULT	11 時の位置	MULT × 8	50	32
TOE DOWN	STEP 1	11 時の位置	完全 4 度下	38	26
TOE DOWN	STEP 2	10 時の位置	短 6 度下	26	1A
TOE DOWN	STEP 3	8 時の位置	1 オクターブ下	3	3
TOE DOWN	STEP 4	2 時の位置	完全 5 度上	102	66
TOE DOWN	STEP 5	1 時の位置	長 3 度上	87	57
TOE DOWN	STEP 6	12 時の位置	ピッチシフトなし	63	3F

## 第 12 章 技術仕様

変換	24 ビット A/D および D/A
DSP	32 ビット浮動小数点
サンプルレート	48,000 Hz
入力インピーダンス	1 M Ω
S/N 比	115 dB
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz
最大入力レベル	+9 dBu (INST レベル設定) +12.5 dBu (LINE/SYNTH レベル設定)

電源	DC 9V, 150 mA, 2.1 mm ジャック (センターピン=ネガティブ)
バイパス	トゥルーバイパス (リレー) またはアナログバッファアンプの選択式バイパス
寸法	W 108 mm × D 114 mm × H 51 mm
重量	414 g

**Mix Wave**®

Meris 社日本代理店 ミックスウェーブ株式会社

〒154-0014 東京都世田谷区新町 2-3-2-3F

電話番号: 03-6804-1681 Email: sales@mixwave.co.jp Fax: 03-5450-8201

Web: <http://www.mixwave.co.jp>

本書は米国 Meris 社の許諾を得て同社の『OTTOBIT jr. Manual v.3 (2017年6月14日発行)』をミックスウェーブ株式会社が翻訳・編集したものです。無断複写・転載を禁じます。

Japanese Edition, © 2019 Mix Wave, Inc. All rights reserved.